

岡山県感染症週報 2015年 第44週 (10月26日～11月1日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

◆2015年 第44週 (10/26～11/1) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第43週	2類感染症	結核	1名 (90代 女)
	3類感染症	細菌性赤痢	1名 (20代 女)
	5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1名 (80代 女)
第44週	2類感染症	結核	2名 (20代 男 1名、80代 男 1名)
	5類感染症	後天性免疫不全症候群	1名 (20代 男)
		侵襲性肺炎球菌感染症	1名 (70代 男)

■定点把握感染症の発生状況

- RSウイルス感染症は、県全体で52名(定点あたり0.74→0.96人)の報告があり、前週より増加しました。
- 感染性胃腸炎は、県全体で308名(定点あたり4.44→5.70人)の報告があり、前週より増加しました。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で43名(定点あたり0.78→0.80人)の報告があり、前週とほぼ同数でした。
- インフルエンザは、倉敷市で2名の報告がありました。

【第45週 速報】

- 腸管出血性大腸菌感染症 1名(O157:小学生 女)の発生がありました。(11月4日)

1. **RSウイルス感染症**は、県全体で52名(定点あたり0.74→0.96人)の報告があり、前週より増加しました。地域別では、岡山市(定点あたり2.43人)、美作地域(同1.33人)、倉敷市(同0.73人)、備北地域(同0.50人)で患者の発生が報告されています。また、岡山市と美作地域では、定点あたり報告数が3週連続で増加しました。2015年第44週までの年齢別累計割合では、1歳未満の乳児が全体の44%と最も高く、ついで1歳が33%の順となっています。第43週までの全国の発生状況では、4週連続で患者報告数が増加しており、過去10年間の同時期と比較して最も多い状態です。この感染症は、例年秋から冬にかけて多くの患者が報告されており、大人は軽い風邪程度で軽快しますが、乳児が感染すると重症化する恐れがあります。ひきつづき今後の県内の発生状況に注意するとともに、乳児がいる家庭では、特に感染予防に努めてください。
2. **感染性胃腸炎**は、県全体で308名(定点あたり4.44→5.70人)の報告があり、前週より増加しました。地域別では、備北地域(8.25人)、倉敷市(8.09人)、備前地域(6.20人)の順で、定点あたり報告数が多くなっており、特に備北地域(4.75→8.25人)と美作地域(3.33→6.17人)では、前週より大きく増加しました。年齢別割合では、0-2歳が31%と最も高く、5歳以下の乳幼児が全体の56%を占めています。この感染症は、通常重症化することはありませんが、小さなお子さんや高齢者の方は、おう吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。流行シーズンである冬季に向けて、今後の発生状況に注意するとともに、手洗いや下痢便・おう吐物の適切な処理など、感染予防に努めましょう。
3. **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**は、県全体で43名(定点あたり0.78→0.80人)の報告があり、前週とほぼ同数でした。地域別では、倉敷市(1.91人)、備中地域(1.00人)、岡山市(0.57人)の順で、定点あたり報告数が多くなっています。就学前から学童期の小児に多い感染症で、突然の発熱と体のだるさ・のどの痛みで発症し、しばしばおう吐を伴います。患者との濃厚接触を避け、手洗い・うがいを行うなど、感染予防に努めましょう。
4. **インフルエンザ**は、倉敷市で2名の報告がありました。県内の発生状況など詳しくは、今週から掲載を開始した「**インフルエンザ週報**」及び岡山県感染症情報センターホームページ『[2015/2016年シーズン インフルエンザ情報](#)』をご覧ください。

流行の推移と発生状況

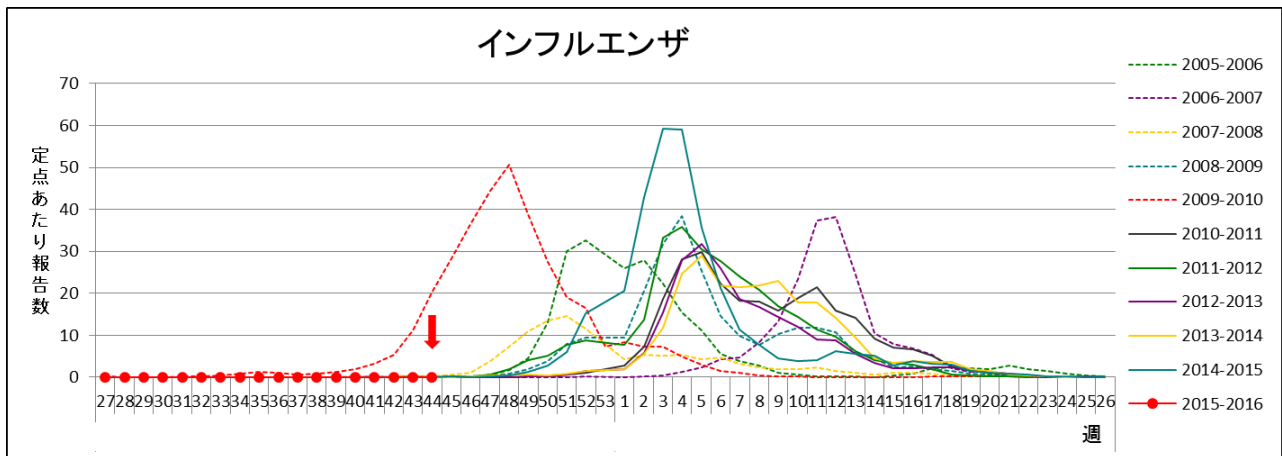
疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	▲	★	RSウイルス感染症	▶	★★
咽頭結膜熱	▶	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	▶	★★★★
感染性胃腸炎	▶	★★	水痘	▶	★
手足口病	▼	★	伝染性紅斑	▶	★★★★★
突発性発疹	▶	★	百日咳	▼	
ヘルパンギーナ	▼	★	流行性耳下腺炎	▶	★
急性出血性結膜炎	▶		流行性角結膜炎	▶	★
細菌性髄膜炎	▶		無菌性髄膜炎	▶	
マイコプラズマ肺炎	▼		クラミジア肺炎	▶	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	▶	* 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、2013年第42週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。			

【記号の説明】 前週からの推移： ▼ : 2倍以上の減少 ◀ : 1.1~2倍未満の減少 ▶ : 1.1未満の増減
 ▲ : 1.1~2倍未満の増加 ▲ : 2倍以上の増加
 発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。
 空白:発生なし ★: 僅か ★★:少し ★★★:やや多い ★★★★:多い ★★★★★:非常に多い

インフルエンザ週報 2015年 第44週 (10月26日～11月1日)

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、倉敷市で2名の発生がありました。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業、入院患者の報告はありませんでした。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、倉敷市で2名の発生があり、県全体では定点あたり0.02人となっています(84定点医療機関報告)。今シーズン(2015/8/31～)は、第38週(9/14～9/20)から散発的に患者が報告されており、第40週に入院患者1名の報告がありました。患者の発生は少数にとどまっています。

第43週全国集計によると、全国では定点あたり0.10人であり、発生はまだ散発的です。都道府県別では、沖縄県(0.88人)、愛知県(0.34人)、神奈川県(0.22人)の順で定点あたり報告数が多くなっていますが、インフルエンザの流行開始の目安となる「定点あたり1人」を超えている地域はありませんでした。

インフルエンザの本格的な流行は、通常12月に入ってからといわれますが、全国ではすでに社会福祉施設や保育園などで集団発生も報告されています。外出後は手洗いを励行し、感染予防を心がけましょう。

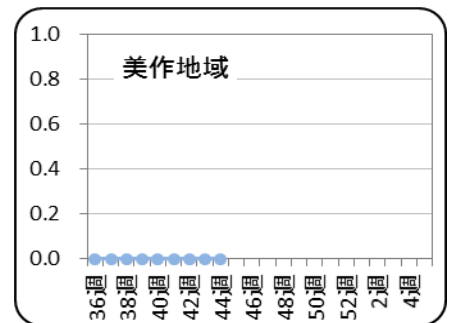
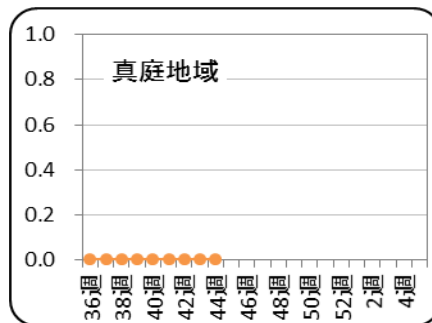
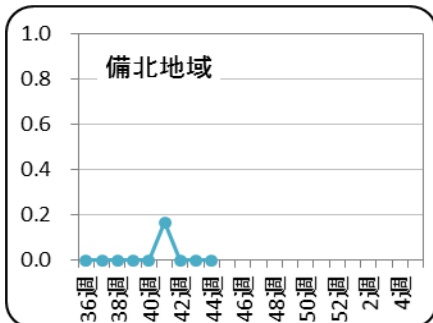
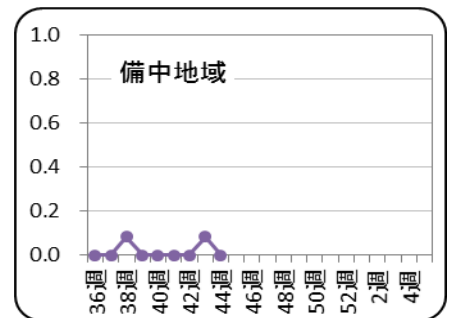
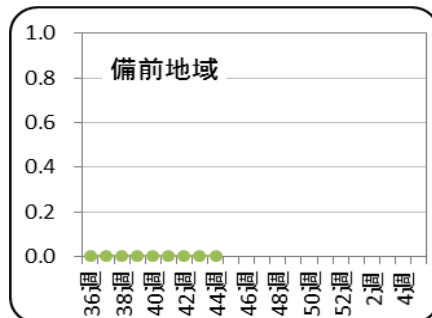
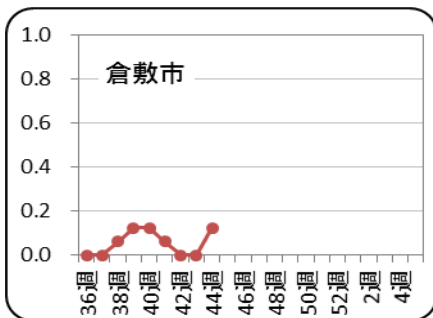
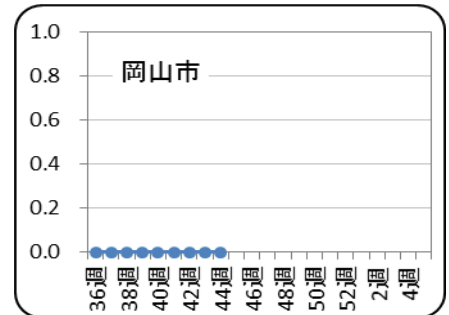
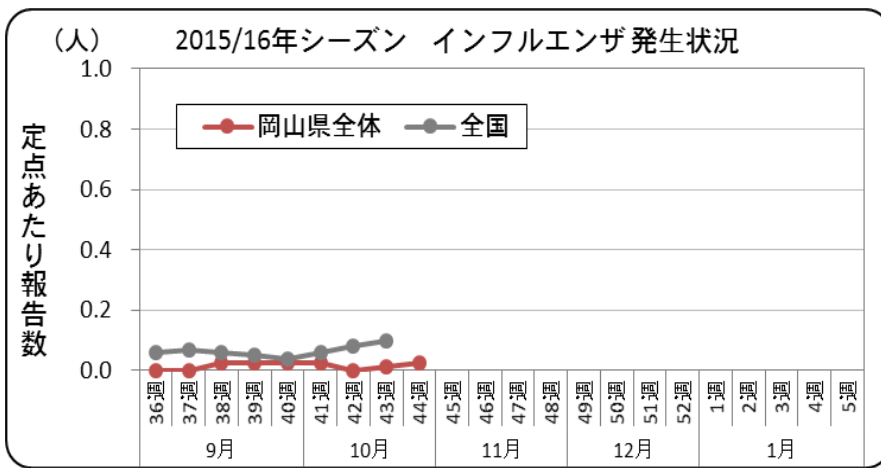
[IDWR 速報データ 2015年第43週 \(国立感染症研究所\)](#)
[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

1. 地域別発生状況

前週からの推移(単位:人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	2	▲	備中	患者数	—	▼
	定点あたり	0.02			定点あたり	—	
岡山市	患者数	—	▶	備北	患者数	—	▶
	定点あたり	—			定点あたり	—	
倉敷市	患者数	2	▲	真庭	患者数	—	▶
	定点あたり	0.13			定点あたり	—	
備前	患者数	—	▶	美作	患者数	—	▶
	定点あたり	—			定点あたり	—	

【記号の説明】 前週からの推移: 2倍以上の減少 ▼ 1.1～2倍未満の減少 ▼ 1.1未満の増減 →
 1.1～2倍未満の増加 ▲ 2倍以上の増加 ▲



2. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。

3. インフルエンザウイルス検出状況

第44週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、ありませんでした。

4. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、ありませんでした。

◆◆ インフルエンザの予防接種はお早めに！ ◆◆

インフルエンザのワクチンによる効果が出現するまで、2週間程度かかります。
本格的な流行がはじまる **12月中旬までに、予防接種を済ませることをお勧めします。**
予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。
流行するウイルスの型が変わるため、毎年、接種することが望めます。

ワクチンの在庫および予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。

保健所別報告患者数(定点把握) 2015年 44週

(2015/10/26～2015/11/01)

2015年11月5日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2	0.02	-	-	2	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	52	0.96	34	2.43	8	0.73	-	-	-	-	2	0.50	-	-	8	1.33
咽頭結膜熱	7	0.13	3	0.21	-	-	2	0.20	-	-	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	0.80	8	0.57	21	1.91	3	0.30	7	1.00	2	0.50	-	-	2	0.33
感染性胃腸炎	308	5.70	46	3.29	89	8.09	62	6.20	32	4.57	33	8.25	9	4.50	37	6.17
水痘	20	0.37	6	0.43	7	0.64	1	0.10	2	0.29	1	0.25	-	-	3	0.50
手足口病	7	0.13	4	0.29	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	13	0.24	10	0.71	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
突発性発疹	15	0.28	8	0.57	4	0.36	-	-	1	0.14	2	0.50	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	32	0.59	9	0.64	3	0.27	-	-	-	-	1	0.25	2	1.00	17	2.83
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	0.42	3	0.60	1	0.25	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数（発生レベル設定疾患）2015年 44週（2015/10/26～2015/11/01）

2015年11月5日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2	0.02	-	-	2	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	7	0.13	3	0.21	-	-	2	0.20	-	-	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	0.80	8	0.57	21	1.91	3	0.30	7	1.00	2	0.50	-	-	2	0.33
感染性胃腸炎	308	5.70	46	3.29	89	8.09	62	6.20	32	4.57	33	8.25	9	4.50	37	6.17
水痘	20	0.37	6	0.43	7	0.64	1	0.10	2	0.29	1	0.25	-	-	3	0.50
手足口病	7	0.13	4	0.29	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	13	0.24	10	0.71	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	32	0.59	9	0.64	3	0.27	-	-	-	-	1	0.25	2	1.00	17	2.83
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	0.42	3	0.60	1	0.25	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2015年 第44週 2015/10/26～2015/11/01)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	52	13	10	13	6	1	8	-	-	-	1	-	-	-	
咽頭結膜熱	7	-	-	3	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	-	-	-	5	4	5	6	7	3	6	1	5	-	1
感染性胃腸炎	308	5	25	37	30	30	28	18	23	12	10	5	30	6	49
水痘	20	1	1	3	3	-	2	3	1	1	3	1	1	-	-
手足口病	7	-	-	1	-	-	1	-	2	1	1	-	-	-	1
伝染性紅斑	13	-	-	1	2	-	3	1	2	1	-	-	2	-	1
突発性発疹	15	-	6	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	32	-	-	2	2	4	2	4	7	2	1	1	2	-	5

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	1	-	-	-

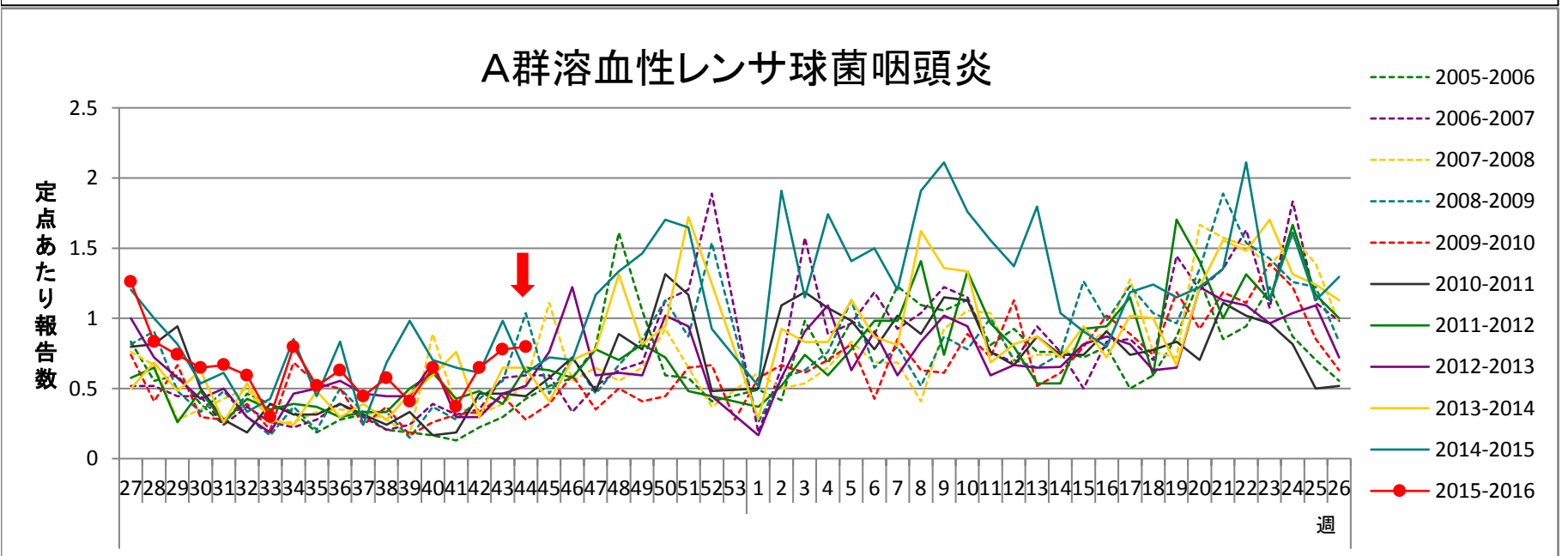
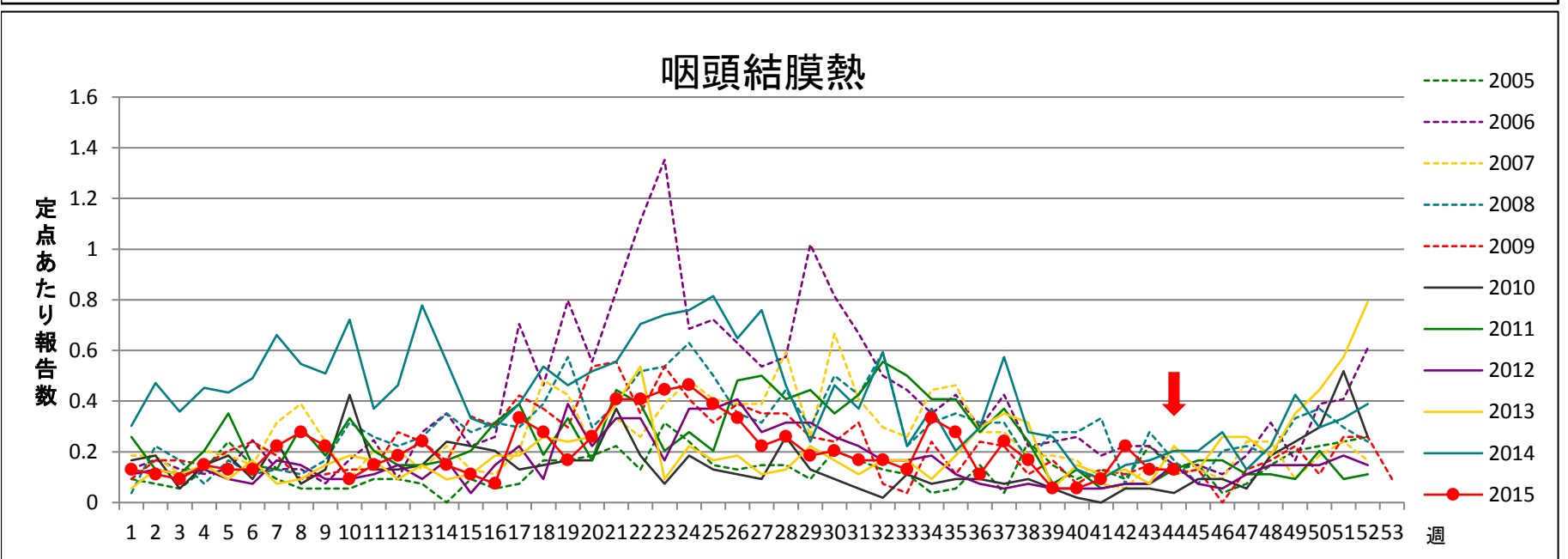
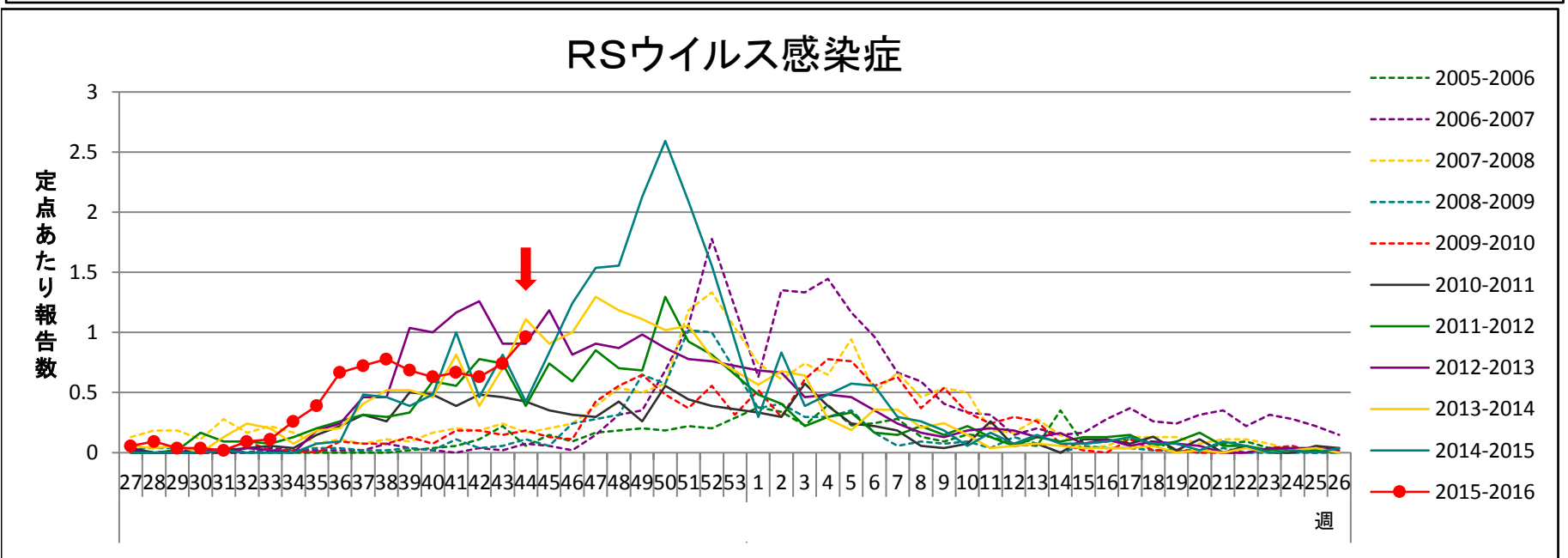
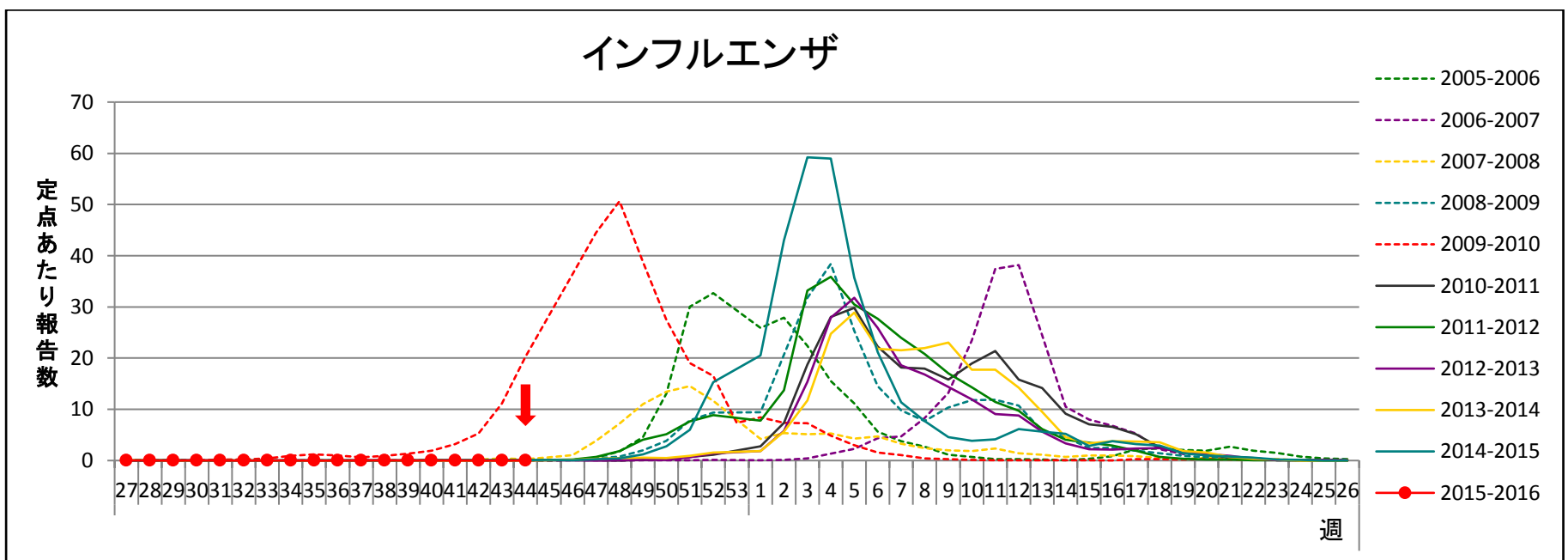
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

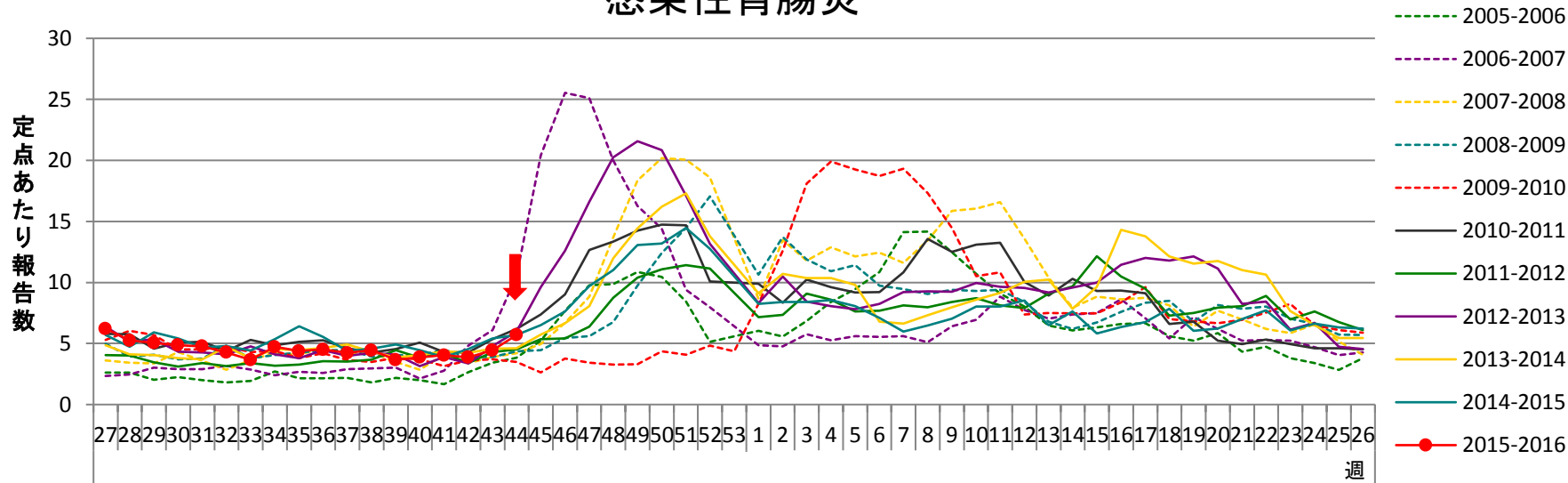
全数把握 感染症患者発生状況

2015年 44週

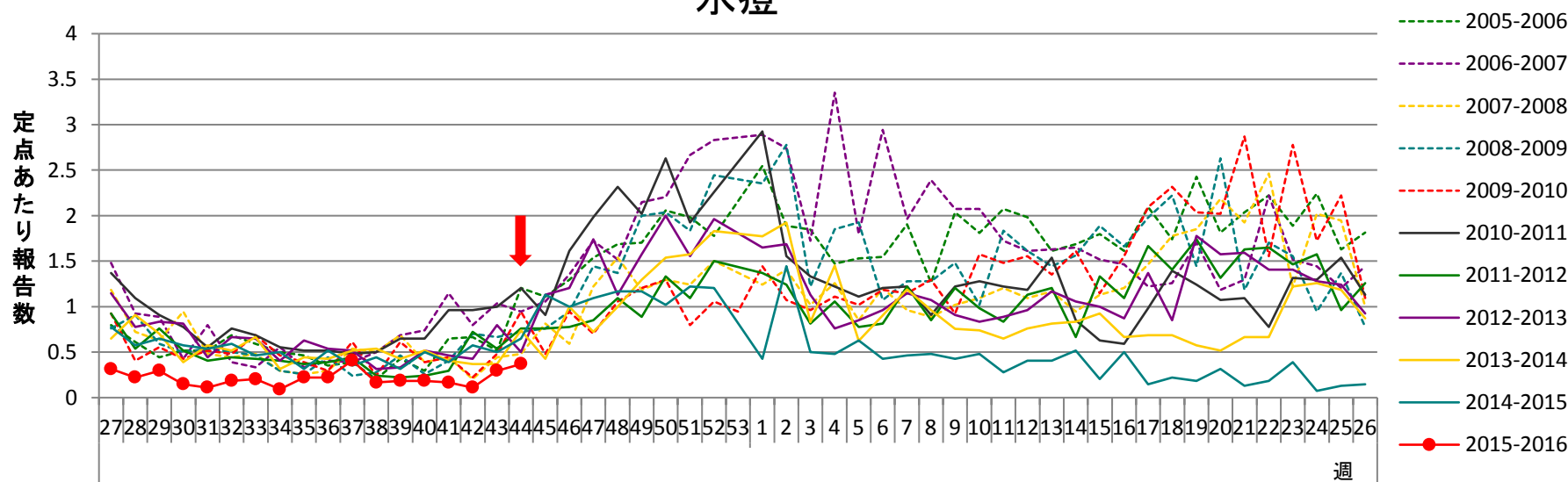
分類	疾病名	2015			疾病名	2015			疾病名	2015		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	2	300	384	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	2	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	60	71
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	3	2	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	6	8
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	1	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	2	腎症候性出血熱	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-
	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	2	デング熱	-	-	1
	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-
	日本脳炎	-	-	-	日本紅斑熱	-	1	4	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-
	ポツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	2	-	野兎病	-	-	-
	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-
	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	-	24	32	レプトスピラ症	-	-	-
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	16	12	ウイルス性肝炎*3	-	7	7	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	-	28
急性脳炎*4		-	11	9	クリプトスポリジウム症	-	1	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		-	1	3	後天性免疫不全症候群	1	19	21	ジアルジア症	-	2	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		-	1	2	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	侵襲性肺炎球菌感染症	1	27	27
水痘(入院例に限る。)		-	4	6	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	15	21
播種性クリプトコックス症		-	1	1	破傷風	-	-	1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	-	-	-
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		-	-	2	風しん	-	-	2	麻しん	-	-	6
薬剤耐性アシネトバクター感染症		-	-	-		-	-	-		-	-	-



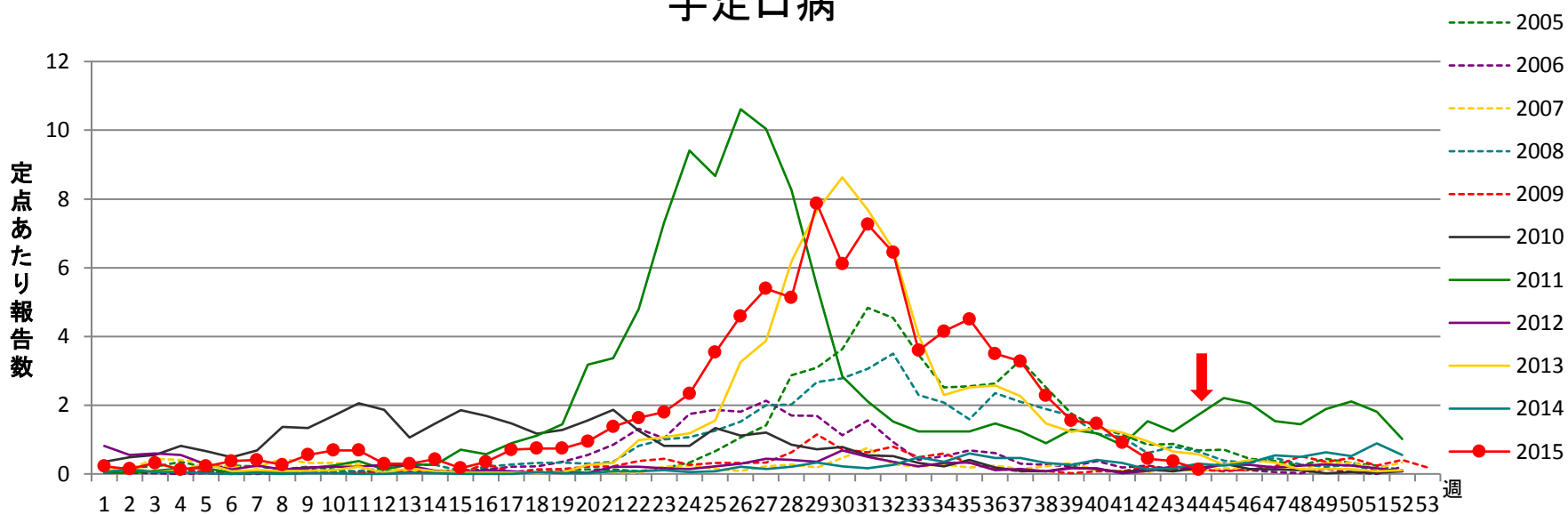
感染性胃腸炎



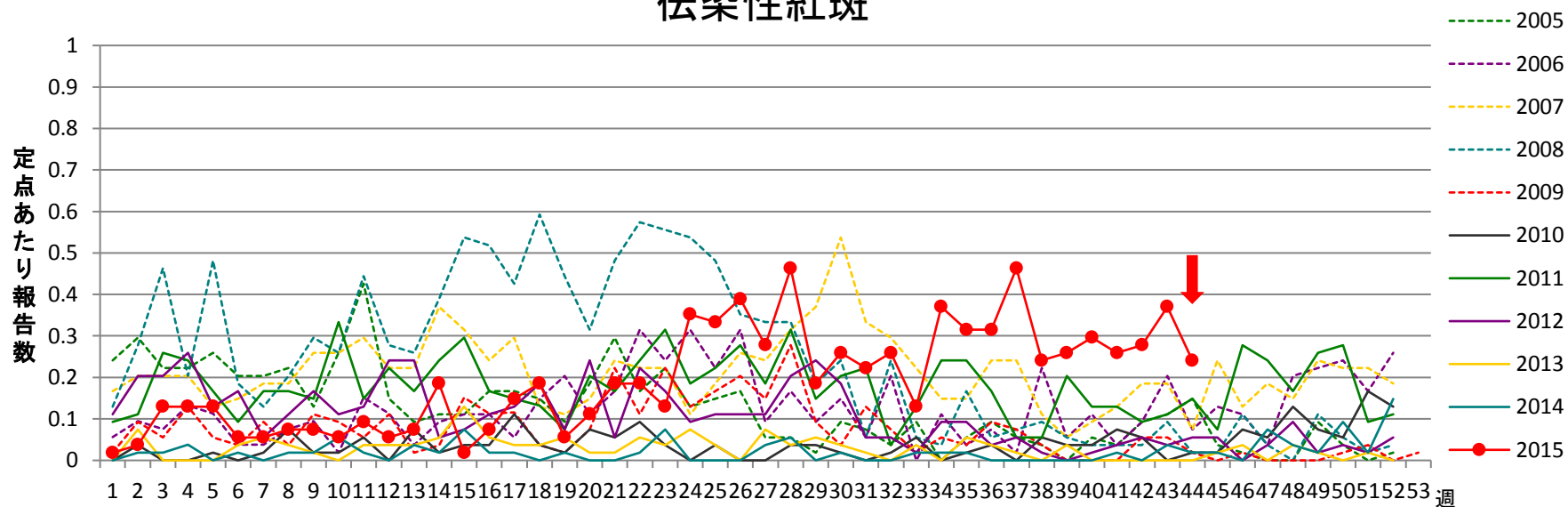
水痘



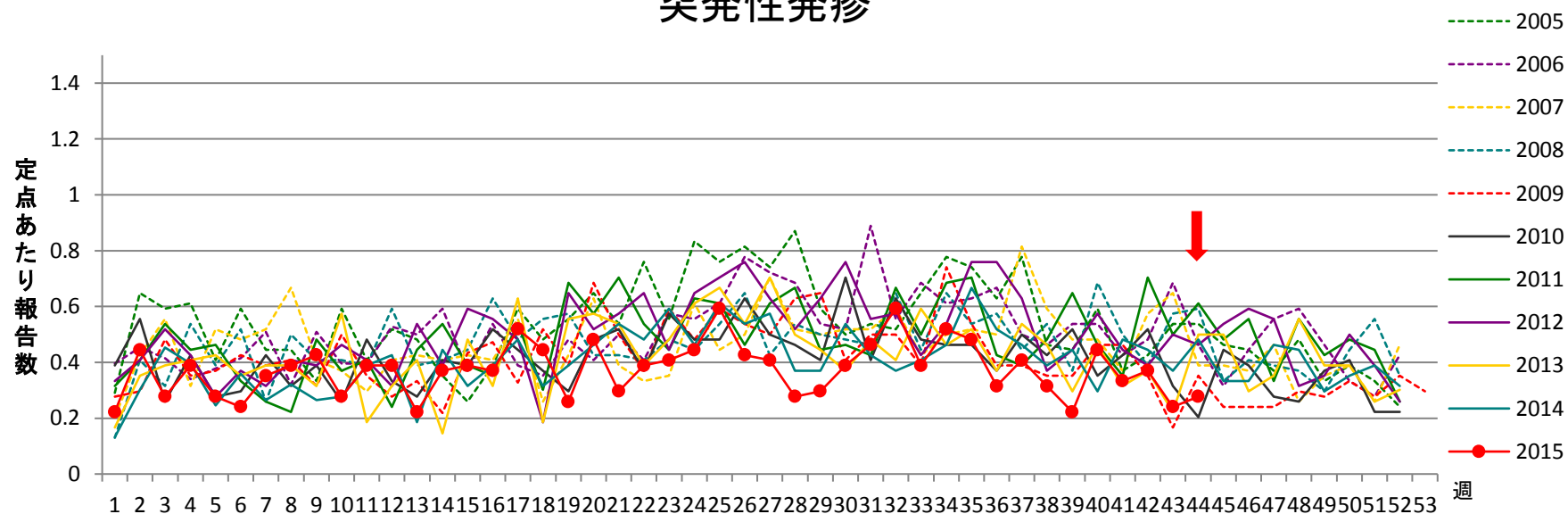
手足口病



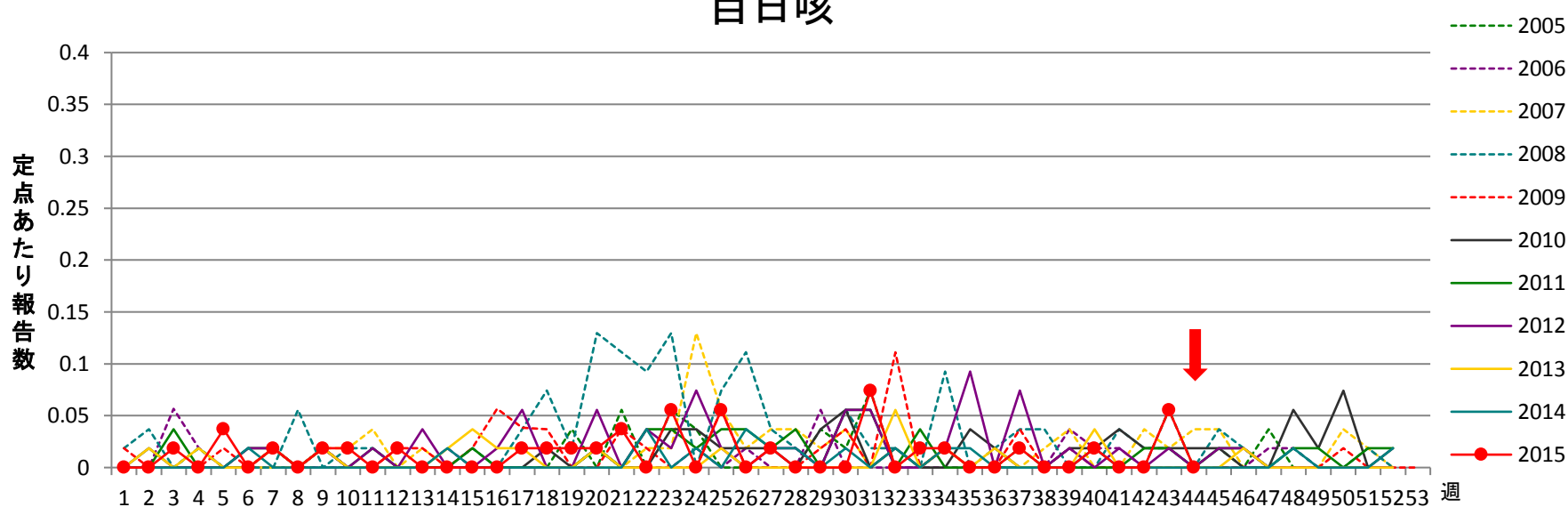
伝染性紅斑



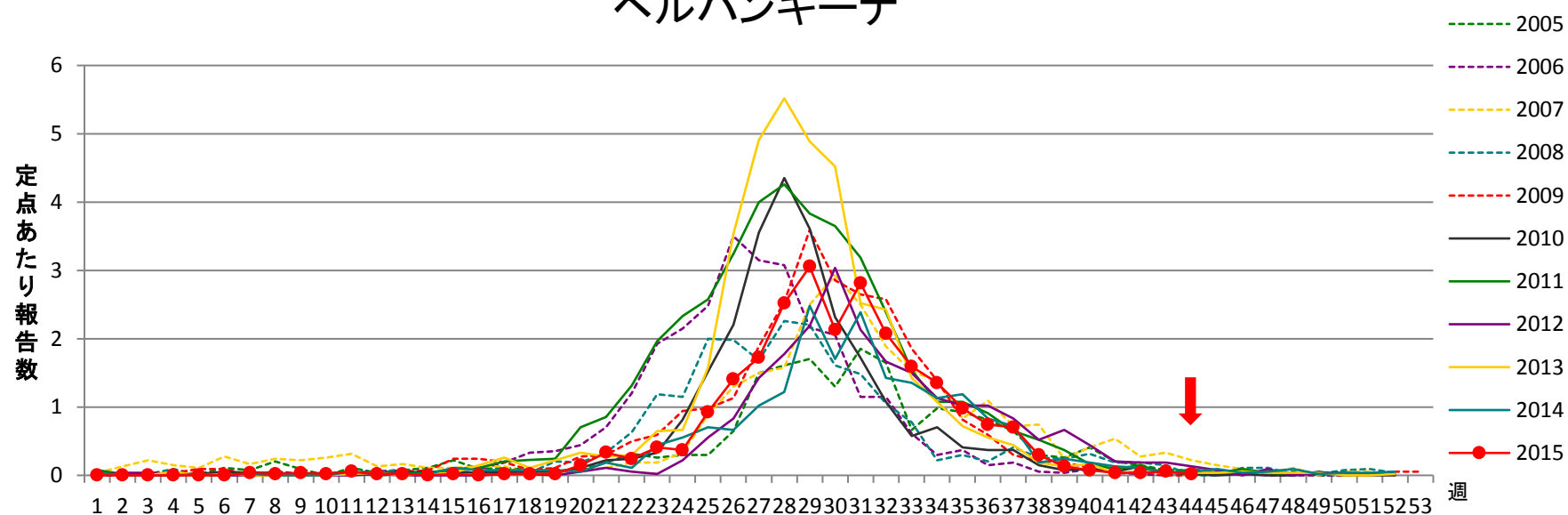
突発性発疹



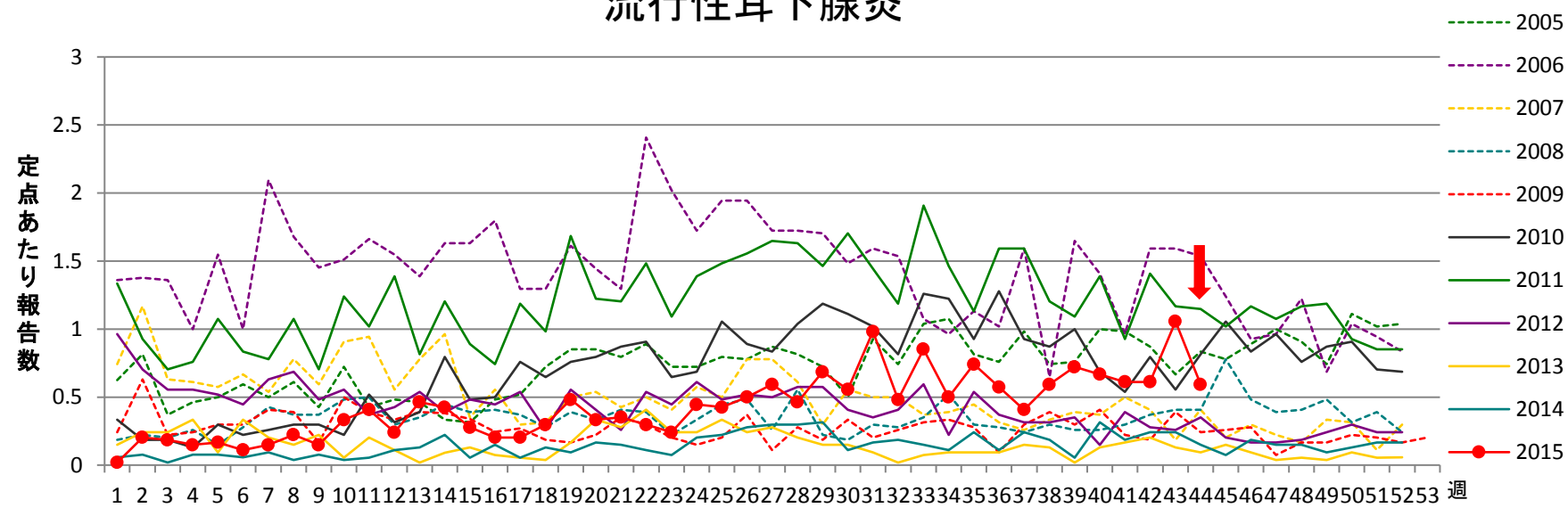
百日咳



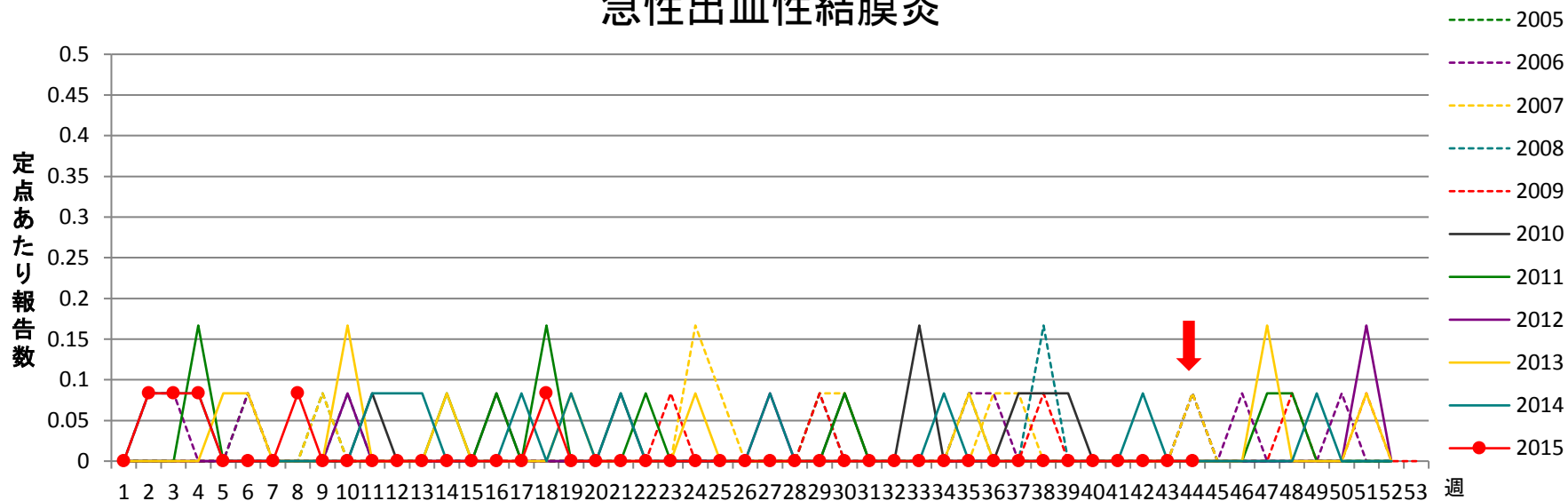
ヘルパンギーナ



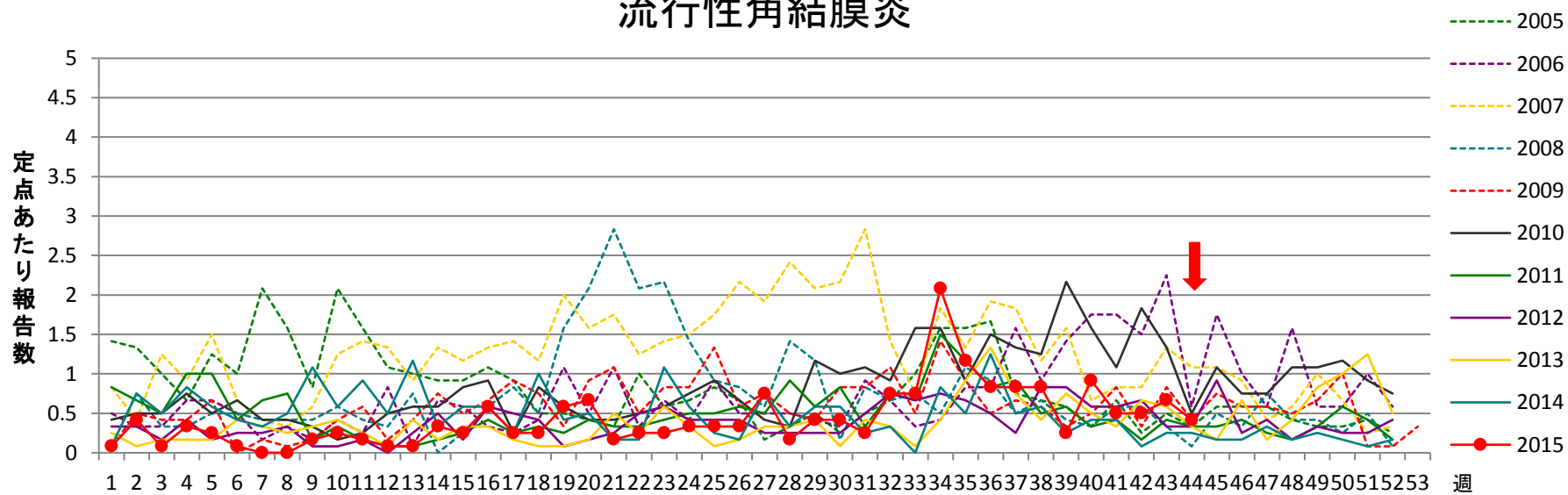
流行性耳下腺炎



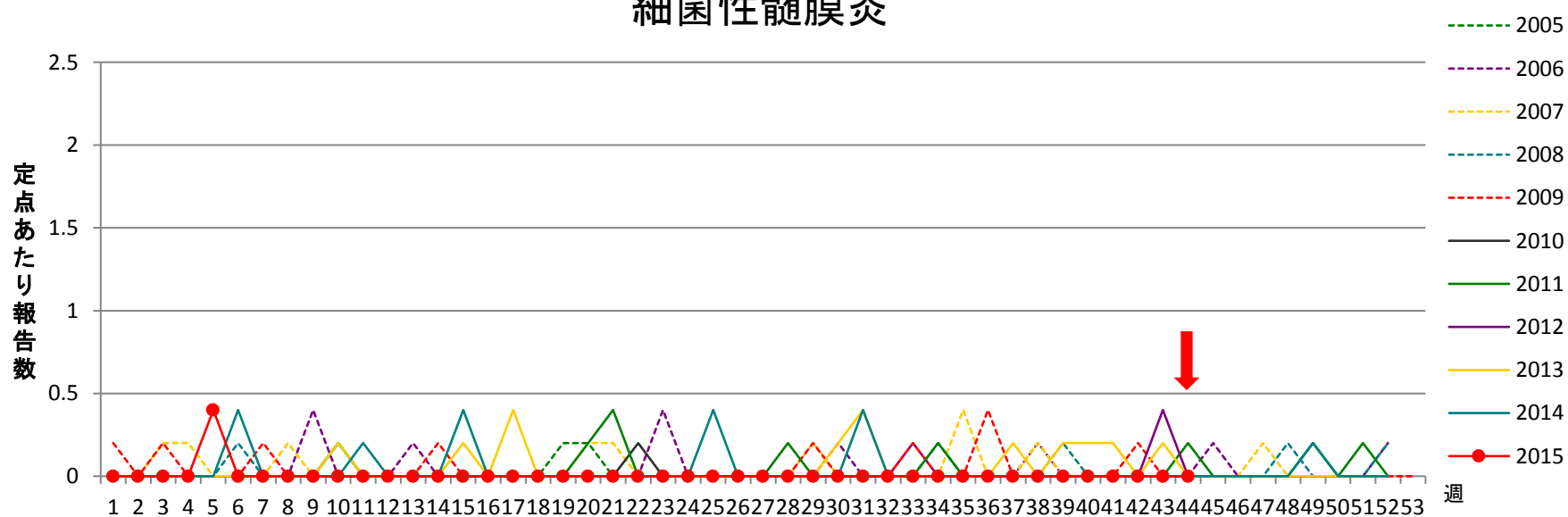
急性出血性結膜炎



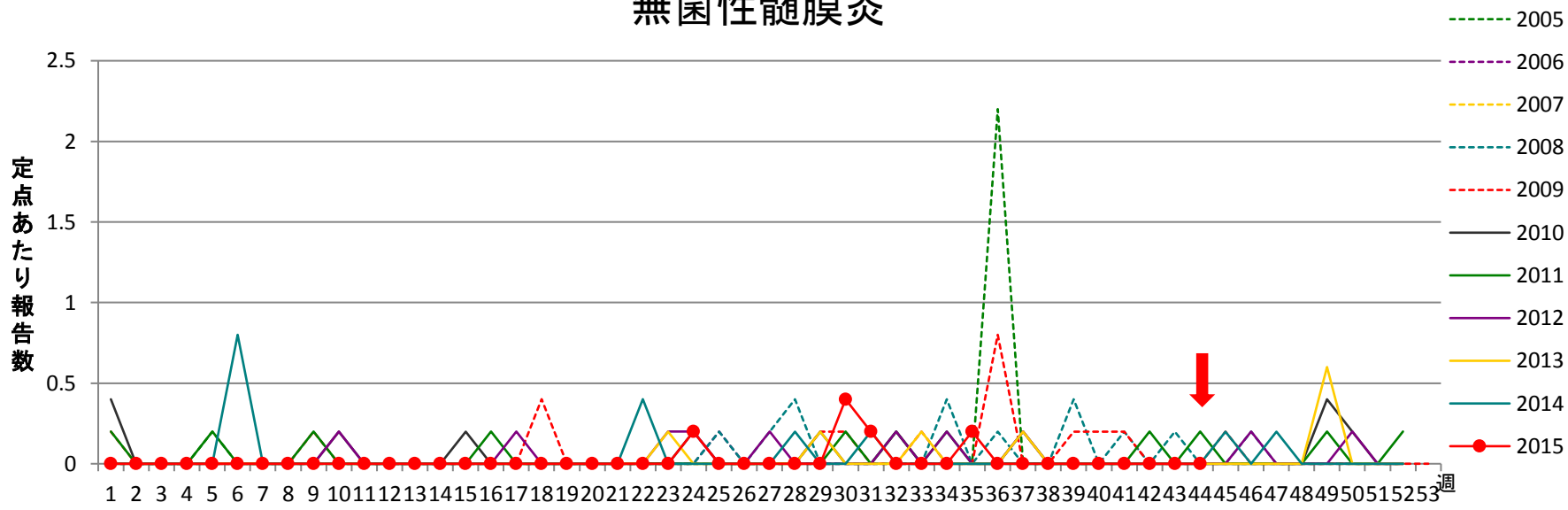
流行性角結膜炎



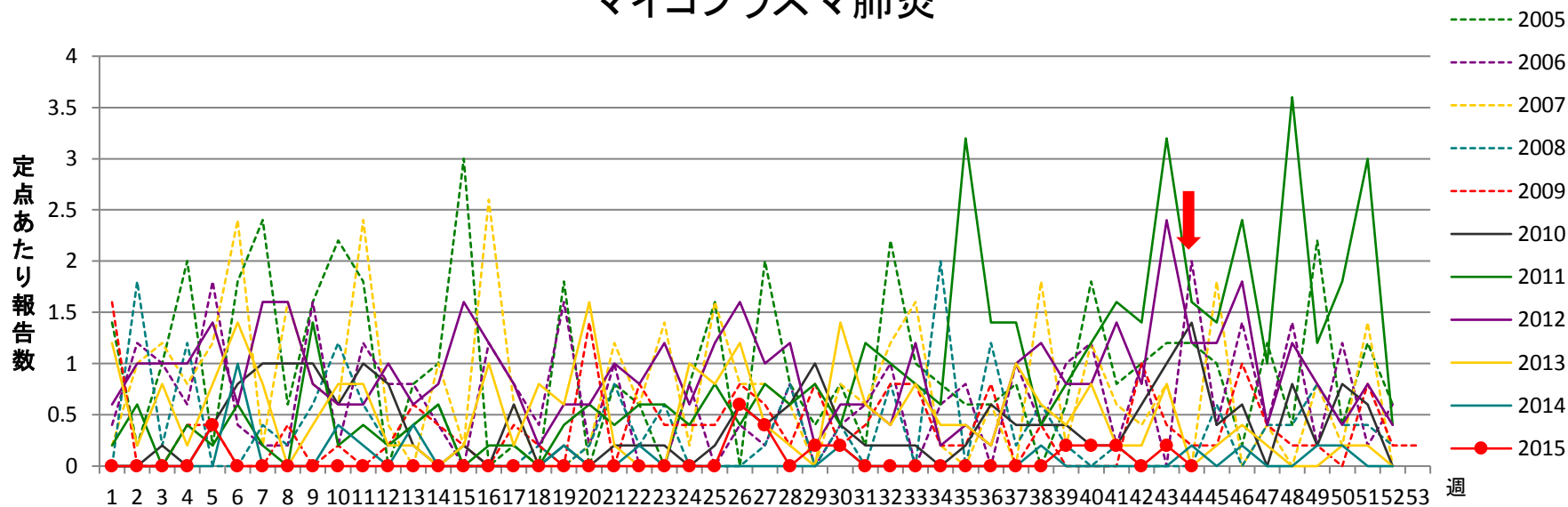
細菌性髄膜炎



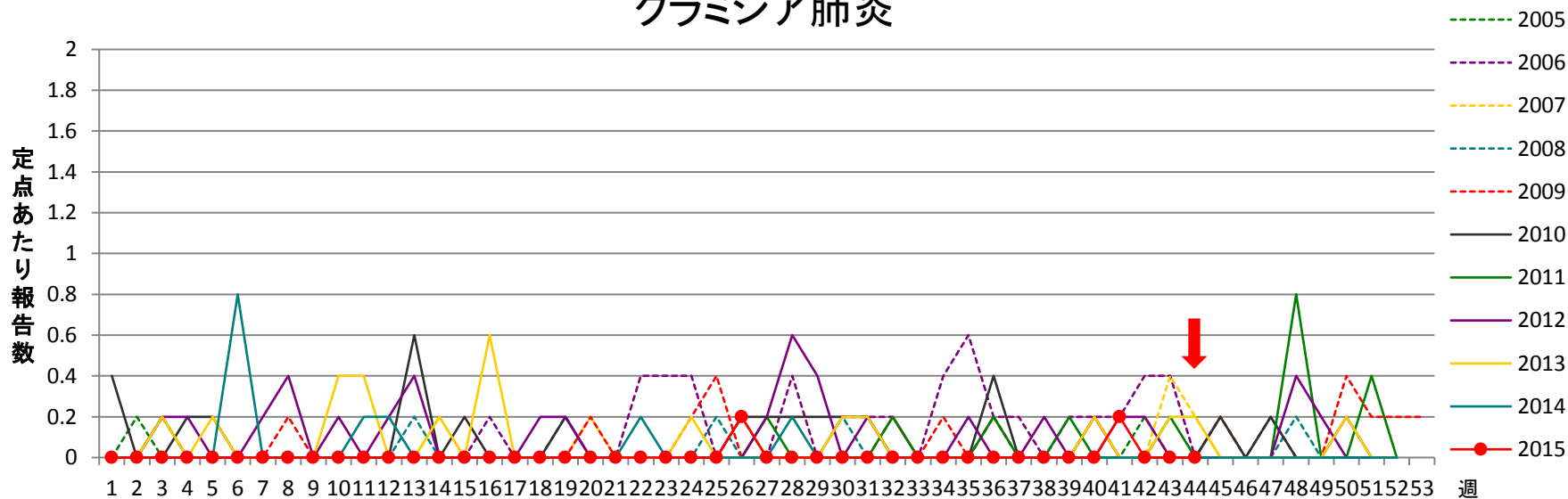
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

